

令和6年度
北海道高等学校PTA联合会「高校生と語るつどい」事業
実施報告書

令和6年12月3日

北海道高等学校PTA联合会 会長 様

北海道高等学校PTA联合会名寄支部
支部長 山本和則
(当番校名 北海道名寄高等学校)

本事業が、令和6年11月28日完了したので、次のとおり関係書類を添えて報告します。
記

1 事業実施概要

(1) 期 日 令和6年11月28日(木曜日)13時00分から
令和6年11月28日(木曜日)16時00分まで

(2) 会 場 名寄市駅前交流プラザ「よろーな」会議室

(3) 実施形態
・ ワールドカフェ方式 ・ 従来方式

(4) 参加者等

ア 参加学校 7校(校名: 剣淵高校、土別翔雲高校、下川商業高校、名寄高校、名寄産業高校、
美深高校、おといねっふ美術工芸高校)

イ 参加者総数

生徒数	引率数	保護者数	運営者数	その他	合計
21名	7名	10名	4名	2名	44名

(5) 事業内容

ア 事業の概要

ワールドカフェ方式による事業

- (ア) テーマを基にグループで意見交換を実施する。
- (イ) 多様な意見を交代で話し合い、用紙に記入していく。
- (ウ) 一定時間で席(グループ)を移動する。
- (エ) ファシリテーターが全体をコントロールし、指示を出していく。

イ 講師 黒井 理恵 様

ウ テーマ

「学校に今求められている個別最適な学びと働き方改革」

～私たちが生徒や自分(生徒・先生・保護者)の成長と幸せのために、学校で一番やりた
いことは何だろう?時間をかけたいことは何だろう?～

2 事業実施による成果

個別最適な学びや働き方改革が叫ばれる社会の中で、学校の在り方をはじめとして生徒の成長や幸
せのためできることをテーマとして話し合った。ワールドカフェ方式により生徒、保護者、教員など
様々な立場や視点から意見交換することで、自分の考えをさらに深めることができた。終盤には、自
分のキーワードを決め、考え方の近い人同士でグループを作り、決めたテーマを実現するために今で
きること、今後やりたいことなど具体的に考え出した。高校と地域の繋がりのきっかけとして良い機
会となり、今後協力していける関係性を築くことができる時間であった。

3 今後の課題等

特になし